

## 全体朝礼 挨拶

令和6年7月8日

1学期期末考査も終了し、7/1からは、3年生が進路実現を叶える企業からの求人票受付が始まりました。昨年度は、本校生徒に対する求人数が10/5時点で、2600件以上と一人あたりの求人倍率は30倍を超えました。その内訳は、各業界の専門的職種だけでなく、給料をもらいながら知識・技能を学べる企業内職業訓練校を持つ企業、女性が働きやすい職場環境づくりを、積極的に行っている女性活躍推進企業で、名称をえるぼし認定企業と言いますが、それら優良企業などから、求人票を郵送される企業もある中で、進路室には連日、県内・市内はもちろんのこと、遠くは関東からも額に汗しながらも貴重な時間を使って、「ぜひ隼工生に応募していただきたい」と、ご挨拶に来てくださる企業もあります。皆さんにとっては、大変ありがたいことです。これは普段、皆さんの学校内外の行いと、先輩方の企業内における信頼と活躍によるもので、77年に亘り1万人以上という卒業生と、在校生・新旧職員、保護者で作りに上げてきた信頼と実績の「隼工ブランド」によるものです。

話は変わりますが、先日、数年前にPTA会長をしてくださった方からお電話を頂き、『飲食店で、誰とは分からない。ただ隼工の制服を着た生徒が、実に丁寧に「いただきます。」「ごちそうさま。」の感謝の挨拶をするのを見聞きして、清々しく誇らしく思ったので電話しました。』とお話を頂き、とても心温まる自分が褒められたような気持ちと、生徒を誇らしく思う気持ちがしました。

しかし、その数日後、今度は別の飲食店で「隼工の制服を着た生徒が、大声で聞き苦しい話をしてとても迷惑だ。」と、ほんの数人の行いによって隼工としてお叱りの電話もあり、午前中、頑張った後の美味しい食事だったはずの時間に、不愉快な想いをさせた、配慮の欠けた行為に残念な気持ちとなりました。



私たち職員は、この秋の試験に向かう3年生や、1年後、2年後の皆さんの進路の実現に向けて、社会の仕組みと、そこで活躍している方々の想いを理解して、貢献できる人材になって欲しいと思っていますし、求人に来られる人事の方々も、そのような心根をもって、主体的に言動できる方を迎え入れたいと考えています。因みに、そんな人事の方々も愛知県に住んでいるのではなく、連絡員として霧島市に住んでいる方もいらっしゃいますし、県内事業所の方々も、すぐ近くに住まわれている方もいらっしゃいます。

皆さんには、これらのことを良く理解した上で「隼工ブランド」の継承者として、振る舞って欲しいと思いますし、その振る舞いは、また必ず「隼工生に応募して欲しい」と、自分に返ってくることでしょう。その制服は自分の制服ですが、卒業生を含む皆の想いが詰まったユニフォームであることも忘れないでください。

最後に、自分の未来は、自分の強い想いで如何様にも近づけていくことは、可能です。

皆さんが、どの様な形で社会に着地して、または、段差を感じることも無く、オートマチックに社会に順応していくか。未来予想図を描きながらポジティブに生活し、大人へと成長してくれることを願って、本日の挨拶といたします。